

SUPERBIKE

2011 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Rd.7 かんぱろ日本
SUPERBIKE RACE in OKAYAMA
10.8.19

EXtra, EXpert and EXtreme EXPRESS--

中須賀克行 ポールポジション!!



中須賀克行がようやく実力を発揮! 高橋巧、柳川明、加賀山就臣、秋吉耕佑も好調 1分29秒台でいかに走り続けるかが勝敗を分ける!?



2連勝を虎視眈々と狙う高橋巧。スタートダッシュがカギを握っている



NEW Ninja ZX-10Rを仕上げ、フロントロウを確保した柳川明



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

秋が日に日に深まる岡山国際サーキットが全日本ロードレース選手権第7戦の舞台。金曜日から快晴に恵まれ、土曜日の公式予選も青空の下で行われた。

今回もノックアウト方式で行われたJSB1000クラスの公式予選。最終セッションとなるQ3に真っ先に出ていった中須賀克行が、4周目に1分29秒264をマーク。このタイムを上回るライダーは現れず、2009年の最終戦以来となるポールポジションを獲得した。「久しぶりのポールポジションなので、素直にうれしいですね。Q3には、決勝用タイヤで出ていきましたが、ポールポジションを獲れるとは思っていませんでした。29秒後半までは、いくとは思っていましたが、29秒前半は想像以上でした」

オートポリスの事前テストで転倒し、肋骨を3本と横突起を骨折していた。第6戦オートポリスでは、満身創痍ながら3位に入り、表彰台に上がった。

「勝つことがもちろん一番いいですが、最後まであきらめないことも大事。(オートポリスの)表彰台でいいリズムができたし、つらいときこそ、チームが一丸となったことで、今回もいいリズムのまま走れている。身体も完璧に治ったし、マシン、タイヤのパッケージもこの季節に合わせてきているので今回は勝ちを狙えるところにいると思う。タイヤマネジメントを考えて、混戦になってくれれば、レースをかき回すことができると思う」と中須賀。

予選2番手につけた高橋巧は、「予選順位は悪く

ないですね。セッティングを思ったよりも詰められませんが、アベレージは、まずまずなので決勝は、中須賀さん、秋吉さんが、どれだけのペースで走るかにもよりますが、しっかりついていって勝負したいです。あとボクの場合、オープニングラップからのペースの上げ方が今回も課題ですね」と高橋。

今シーズン初のフロントロウとなる3番手につけたのは、カワサキのエース柳川明だった。「フロントロウにつけられたのは、秋吉くんが転んだから。まだまだニューマシンは、詰める部分が残っているけれど、レースは、29秒台で走り続けることができたライダーが勝つでしょう。もちろん、その中に自分も入っていて欲しいですけどね」と冷静ながら、上機嫌な柳川。

今シーズン、フロントロウを逃したことがなかった加賀山就臣は、5番手となったが、その原因はハッキリしていた。

「どうしても確認したいことがあって、それをQ3にしたんだ。決勝に向けてダメ出しができたので、レースは、大丈夫でしょう」と自信をのぞかせる。

そして、ポールポジションが指定席となってきた秋吉耕佑は、何と5番手となってしまった。Q3が始まり、3周目の1コーナーでフロントから、まさかの転倒。すぐにマシンを起こしてピットに戻ったものの、再びタイムアタックに入れずにセッションを終えてしまっていた。ただ、Q1では1分29秒398、Q2でも、1分29秒896をマークし、トップタイムだったことを考えれば、

今回も、転倒さえなければポールポジションは、秋吉のものだったかもしれない。アベレージも速いだけに、秋吉も優勝の本命と言える。

今回は、中須賀が優勝争いに復帰、柳川もようやくニューマシンを仕上げたため、トップ争いは、5台での争いになりそうだ。昨年は、伊藤真一と中須賀がトップ争いを繰り広げたが、そのときは、1分29秒台での戦いとなっていた。今回も1分29秒台でのバトルになりそうだが、このレースウィークは、タイムの上がり方が、JSB1000クラスに限っては、ややにぶいところもある。それが木曜日まで行われていた4輪のSUPER GTテストが影響しているというコメントもあった。トップ争いと共に、タイトル争いの行方も気になる。今回の岡山ラウンドは、どんなドラマが待ち受けているのだろうか!?

[佐藤 寿宏]



9年振りの岡山で豪快なライディングを披露する加賀山就臣



Q3の転倒が悔やまれる秋吉耕佑。決勝で挽回だ!



Pole Position 中須賀克行 1'29.264

「ポールポジションは2009年最終戦の鈴鹿以来です。自分のベストを尽くして出した結果なので素直にうれしいですね。アベレージは安定してよかったです。あと一歩上のタイムがなかなか出ない状態だったので、決勝用タイヤでここまで出るとは、正直びっくりしました。パッケージ的にも、いい時期に入ってきたし、それで自分のリズムも作れてきているのでタイムにも繋がったと思う。気持ちよく走れているのが一番ですね。決勝は、いいアベレージで走っている(高橋)巧選手がキーマンになると思う。秋吉選手も絶対来るでしょうね。4、5台の戦いになると思いますが、徐々に自分が優勝争いできる位置にいるので、いいレースをしたい。レースを楽しみたいですね」



ベテラン仲城英幸が 4年振りのP.P.獲得 “ベストを尽くすよ!”



Pole Position 仲城英幸 1'37.778

「事前テストから順調にタイムも上がり、セットアップも順調にきています。岡山はテクニカルなコースなので2ストが有利かと思いましたが、意外とタイムが出たのでNSF250の車体も含め、4ストの優位性も証明できたかな。決勝は混戦になると思うけれど、序盤からタイムを上げて逃げられたいですね。予選では少しフロントに問題があって攻めきれない部分があったんですけど、金曜の方がいいタイムだったので、そのタイムが継続できれば大丈夫かな。4ストは4ストのセッティングを出すようにアタマを切りかえたのがよかったと思います。決勝はどういうメンバーで戦うことになるかわからないけれど、とにかくミスしないようにベストを尽くすだけです」



山口辰也、ST600&J-GP2で Wポールをゲット!! Wウインなるか!?



**Pole Position 山口辰也 J-GP2/1'32.203
ST600/1'32.795**

「J-GP2はドライでテストができないままレースウィークを迎え、1から始めるような状況でした。どんなラップタイムが出るかわからなかったのですが、2009年にモリワキがMDを開発していたとき、岡山のレースに(森脇)尚謙が出ていたので、その時のタイムを目安に、STのノーマルエンジンにピレリタイヤで出せたらいいなと思っていました。それに近いタイムが出せましたが、本当はもっと出したかったです。データが何もないので、決勝もデータ取りに徹して、最終戦に向けてセッティングを詰めることになると思います。もちろん勝てるチャンスがあれば勝ちたいし、そのために車両を買ったのですが、今はまだ戦える段階ではないですね。でもポテンシャルは高いバイク。まずは走り込んでセッティングを詰めることが必要ですね。ST600は、どのサーキットでも去年のコースレコードを更新しているの、今回も1分32秒5くらいは出るかなと思っていたんですけど届かなかったの、ちょっと残念です。決勝は、厳しい戦いになると思いますが、頑張ります」



- 予選・決勝開催日/10月8日(土)
- 天候・路面/予選・決勝(晴/ドライ)
- 決勝レース/12周

RACE REPORT



独走で今季3勝目を飾った長島哲太。これで2位のケンタに10ポイント差を付け、最終戦鈴鹿でタイトルを決める決意だ。

開始早々から独走! 長島哲太が今季3勝目

公式予選でコースレコードを更新する1分39秒058を叩き出し、2番手に約1秒の差をつけ今季2度目のポールポジションを獲得したのは長島哲太。

長島はホールショットを奪うと、オープニングラップから他車を引き離し独走。1周で2番手に約1秒の差をつけると、その後も1分39秒台を連発し後続との差を広げていく。

2位争いは予選2番手の藤井謙太と、3番手の小室旭の一騎打ちとなった。スタートで2番手に浮上したのは小室。2周目のヘアピンコーナーでは藤井がポジションを奪い返すが、5周目の1コーナーでは再び小室が藤井の前に出る。10周目に1分39秒695の自己ベストをマークした藤井は、翌11周目の1コーナーで小室を抜きペースを上げるが、小室も最終ラップで自己ベストを更新する走りで藤井を迫る。

12周のレースは長島が独走のままポール to ウインを決め、今季3勝目。8秒足らずの後に2位争いを制した藤井がゴール。コンマ2秒の僅差で小室が3位となった。4位は予選7番手からポジションを上げた伊藤公一。終始、大きな集団となっていた5位争いは最終ラップのヘアピンコーナーでこの集団の前に出た松井洪弥が制し、坪川浩明、谷川壮洋、山本恭祐、中木亮輔、三好菜摘、伊達悠太が続いてチェッカーを受けた。

現在ポイントリーダーの長島は97ポイント。これを87ポイントの藤井、79ポイントの小室が追う。最終戦を残し、チャンピオン争いはこの3名に絞られた。

WINNER 優勝/長島 哲太

「予選でレコードタイムを出せたので、決勝で1分38秒台に入るかなと思って3周目までアタックしてみたんですけど、思いのほかタイムが上がらなかったの、あとは39秒台でラップできるように意識して走っていました。レース中は後ろを見ないようにしていましたが、だんだん離れているのはボードで確認していました。一度ミスして40秒台に落ちたけれど、それ以外は普通に走れたのでよかったです。最終戦の鈴鹿は(藤井)謙汰が速いと思うので、それまでにアドバンテージを築きたかった。ポイントを広げることができてよかったです」

GP-MONO 決勝レース結果

Pos	No	Rider	Team	Total Time
1	45	長島 哲太	Projectμ7C HARC	20'01.828
2	1	藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	20'09.539
3	2	小室 旭	TeamKOMUROwithHARC	20'09.789
4	9	伊藤 公一	IRT	20'17.070
5	4	松井 洪弥	TEAM PLUS ONE	20'22.839
6	7	坪川 浩明	TEAM-MARGUERITE	20'22.941
7	3	谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	20'23.090
8	14	山本 恭祐	広島ガジタRacing&LRC	20'23.189
9	56	中木 亮輔	ミニニBeatテリー&カリー	20'23.725
10	22	三好 菜摘	オールスターモータースポーツ	20'24.237
11	46	伊達 悠太	犬の乳酸菌.JP/プリミティブ	20'25.223
12	88	中本 貴也	18 GARAGE RT withモリワキ	20'28.516
13	17	松江 保幸	Projectμ7C HARC	20'36.896
14	23	高瀬 敬次	近畿スポーツランド マックウエスタン	20'37.139
15	16	葛西 雅迪	タニシ&SpeedHeart	20'37.693
16	12	大迫 敏信	TEAM PLUS ONE	20'43.925
17	18	瀬古 直樹	ZIPBIKE&TOS-R	20'44.090
18	66	益田 豊央	MFJ・RR・アカデミー・IF	20'44.094
19	11	畑中 要	FTR・タイヤナビ	20'47.438
20	99	中臺 翔太	テルル・ハニービーレーシング	20'47.838
21	10	江崎屋 孝	犬の乳酸菌.JP/PRCS	20'48.647
22	21	楠元 晃一	Garage130R&Jr's	20'48.649
23	52	大塚 浩二	team RISKY	20'48.773
24	44	林 祥由	TEAM TECHNICA	20'53.832
25	20	赤間 清	CLUB・HARC-PRO.	20'54.078
26	54	松尾 哲司	ヒガンEng&九州工業大学	21'03.339
27	93	L. GILLIND	チームヨシハル・K1Racing	21'04.167
28	49	後藤 満	キートンRT☆横倉自動車工業	21'18.274
29	50	鳥羽 運	チーム テック2 & TDA	20'47.782
----- 以上チェッカー -----				
30	17	増田 颯也	クラブM+松田壘+翔RT	18'20.185
----- 以上完走 -----				
75	吉市 右京	ASPIRATION.A-next		12'12.985
32	法月多嘉夫	MARS&OMEGA&RPペア	12 Laps	
25	岩本 有司	オールスターモータースポーツ	出走せず	

参加台数:34台 出走台数:32台
ベストラップ: 45 長島 哲太 1'39.438 4/12 134.061km/h



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走34台
●決勝スタート/15:10(20周)

Pos No.	Name	Team	Machine	BestTime	
1	21	中須賀克行	YSP Racing Team with TRC	YZF-R1	1'29.264
2	634	高橋 巧	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR1000RR	1'29.252
3	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	1'29.903
4	71	加賀山就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'30.226
5	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	1'30.229
6	01	出口 修	エヴァRT初号機トリックスターFRTR	ZX-10R	1'31.196
7	11	須貝 義行	チームスガイレージングジャパン	1098R	1'32.379
8	10	東村伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	1'32.755
9	55	須藤 貞仁	CONFIA HMF	RSV4 Factory	1'32.798
10	25	浜口 俊之	クラウン警備保障RACING	CBR1000RR	1'32.838
11	19	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R1	1'33.518
12	54	徳留 和樹	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR1000RR	1'33.590
-----以上Q3にて決定-----					
13	39	柚木 カ	チーム石嶽のお花ドリフェラン	CBR1000RR	1'32.962
14	38	津田 一磨	KoharaRacing	CBR1000RR	1'33.344
15	15	戸田 隆	G-TRIBE	S1000RR	1'33.378
16	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000L1	1'33.580
17	37	田村 武士	テイクアップOIRF	GSX-R1000K9	1'33.581
18	20	北口 浩二	クラウン警備保障RACING	CBR1000RR	1'33.666
19	23	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'34.309
20	43	村上 雅彦	チームムラカミウツドストップ	ZX-10R	1'34.322
21	22	原田 洋孝	RS-ガレージハラダ姫路!	ZX-10R	1'35.110
22	34	宇佐保保弘	チーム・エックシングファクトリー	YZF-R1	1'35.448
23	63	片平 亮輔	8810RwithMCR	CBR1000RR	出走せず
24	221	新庄 雅浩	クレバーウルフFRONTIER	YZF-R1	出走せず
-----以上Q2にて決定-----					
25	16	中村 知雅	チームトモマサ	CBR1000RR	1'35.134
26	17	高田 速人	8810RwithMCR	S1000RR	1'35.411
27	111	藤本 悦生	TeamFuji☆LucRui	GSX-R1000	1'35.836
28	903	中井 恒和	ノイズ	YZF-R1	1'36.007
29	85	今津比呂志	プラスワン MCRT	ZX-10R	1'36.259
30	44	佐藤 大輔	SRFクラブRAIJO+1.5	CBR1000RR	1'36.300
31	66	矢木 清貴	ARROWTREE O-TEC	CBR1000RR	1'36.540
32	65	和多瀬邦治	DOGFISHオーテックススカ	CBR1000RR	1'36.782
33	99	吉田 和憲	救急救命戦隊licu RT	YZF-R1	1'37.566
-----以上予選通過-----					
34	18	久保山正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	1'46.524

予選通過基準タイム/Q1セッション上位3台の平均タイムの110% 1'38.741



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走33台
●決勝スタート/10:05(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	10	仲城 英幸	Projectu7C HARC	NSF250R	1'37.778
2	5	Y-1 渡辺 陽向	Projectu7C クルーズ	NSF250R	1'37.811
3	1	Y-2 大久保 光	18 GARAGE RACING TEAM	RS125R	1'37.922
4	12	Y-3 藤井 謙汰	F.C.C.TSR Honda	NSF250R	1'38.069
5	7	徳留 真紀	Team Alliance & HARC-PRO.	RS125R	1'38.213
6	8	Y-4 山本 剛大	TeamNOBBY	RS125R	1'38.376
7	20	Y-5 山田 誓己	TEAM PLUS ONE	RS125R	1'38.400
8	86	山本 武宏	MARINEコスモス+中川+G	RS125	1'38.721
9	73	小室 旭	TeamKOMUROwithHARC	NSF250R	1'39.214
10	3	森 俊也	Team NOBBY	NSF250R	1'39.274
11	18	安村 志志	チーム テック2	TZ125	1'39.313
12	61	Y-6 亀井 雄大	18 GARAGE RT with SAKURAI	NSF250R	1'39.535
13	71	Y-7 藪田 孝速	i-FACTORY & team hirock	RS125R	1'40.096
14	53	奥村 豊	クエストラレーシング&FLEX!!	RS125R	1'40.194
15	58	松井 洪弥	チーム プラスワン&TSR	NSF250R	1'40.333
16	63	Y-8 北見 剣	TEAM i-FACTORY	NSF250R	1'40.342
17	45	岡田 義治	Projectu7C HARC	HP25RW	1'40.590
18	87	花房 将	ダリアレーシング 名人会 天歩	RS125R	1'40.611
19	88	高木 伸一	チームライフ・ドリーム北九州	NSF250R	1'40.719
20	36	引沼 雄太	YAMASHIN&RISEON	RS125R	1'40.725
21	62	Y-9 佐野 優人	SRS-J	RS125R	1'40.743
22	14	鎌田 悟	ENDURANCE+桶川スポーツランド	NSF250R	1'40.849
23	25	高杉奈緒子	モトバムwithヒポガタマス	NSF250R	1'41.001
24	23	今中 満	team RISKY	RS125R	1'41.152
25	55	村井 浩志	ZAPPER Racing	RS125R	1'41.226
26	72	岸田 慶一	ちーむとらお&FLEX!!	RS125R	1'41.419
27	75	LINC GILDING	チームヨシハル・K1Racing	NSF250R	1'41.465
28	77	古市 右京	ASPIRATION.A-next	ASPCRF250	1'41.963
29	2	菊池 寛幸	WHEELIE・KoharaR	RS125	1'42.216
30	64	畝原 洋	チームKOHSAKA高橋商会	RS125R	1'42.394
31	29	川瀬啓一郎	KOHSAKA&バックヤードガレージ	RS125R	1'43.003
32	50	松下 幸司	[GRAND fine-R]	RS125R	1'43.208
33	35	太田 一貴	PRIDE★1&JOKEJOY	RS125R	1'43.650
-----以上予選通過-----					
22	Y	渡辺 ユキ	TEAM YUI	RS125	出走せず
24		大西 隼	Projectu7C HARC	RS125R	出走せず
27		大塚 卓也	HondaブルーヘルメットMSC	RS125R	出走せず
76		濱村 太郎	OSP Racing JRP	RS125R	出走せず

区分:Y=Youth
予選通過基準タイム(110%) 1'47.556



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走50台
●決勝スタート/11:10(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	山口 辰也	TOHORacingMOTOBUM	CBR600RR	1'32.795R
2	20	D. KRAISART	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'32.984R
3	634	小林 龍太	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	1'33.586
4	12	津田 拓也	WestPower	GSX-R600	1'33.612
5	14	C. POLAMAI	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'33.645
6	9	渡辺 一馬	KoharaRacing	CBR600RR	1'33.709
7	3	中富 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'33.727
8	62	横江 竜司	RT 森のくまさん佐藤塾	YZF-R6	1'33.744
9	21	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'33.765
10	93	井筒 仁康	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'33.808
11	11	佐藤 裕良	HiTMANRC甲子園 ヤマハ	YZF-R6	1'33.849
12	391	酒井 大作	TEAM ZEN&プラスワン	GSX-R600	1'33.860
13	13	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	CBR600RR	1'34.032
14	22	岡村 光矩	RS&ジービー・ドリーム北九州	CBR600RR	1'34.146
15	99	若田 悟	テルル・ハニービーレーシング	CBR600RR	1'34.293
16	73	浦本 修充	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	1'34.324
17	5	中真太郎	TEAMしんたろうwith KRT	CBR600RR	1'34.374
18	81	亀谷 長純	バーニングブラッドRT	CBR600RR	1'34.517
19	44	藤島 翔太	4Sure	CBR600RR	1'34.548
20	76	清水 直樹	EXPRESS Hou You	YZF-R6	1'34.590
21	77	深津 拓真	クラブスガイレージングクラブジャパン	CBR600RR	1'34.594
22	7	稲垣 誠	伊藤レーシングGMD・アケノS	YZF-R6	1'34.710
23	10	園川 浩道	HiRA.No.92R	CBR600RR	1'34.724
24	71	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R6	1'35.038
25	17	豊田 浩史	D:REX	YZF-R6	1'35.070
26	78	大田 雅裕	B-SQUAREレーシング&大阪SAMRT	ZX-6R	1'35.113
27	24	井上 哲悟	RS-ITOH&FAST	ZX-6R	1'35.210
28	162	M.F.Imannuddin	Manual-Tech Beet Kawasaki	ZX-6R	1'35.212
29	45	相馬 利胤	Team Tane	YZF-R6	1'35.249
30	82	宮嶋 佳毅	モリワキクラブ	CBR600RR	1'35.333
31	68	篠崎 佑助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'35.488
32	42	田島 聖真	チームマキキョー&アトミック	ZX-6R	1'35.576
33	28	匠王田章弘	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'35.582
34	53	近藤 湧也	GBSレーシング 興翔&篤志連	YZF-R6	1'35.747
35	46	西崎 修	SPA直入インストwithファイビー	ZX-6R	1'35.796
36	146	瀬崎 恭広	カメイレーシング&チーム万代	ZX-6R	1'35.841
37	91	田中 裕太	RS-ITOH&FAST	ZX-6R	1'35.845
38	57	森 皓賢	PEE'Sモトアドベンチャー	YZF-R6	1'35.853
39	75	奥谷 真也	チームとらお テイクアップ	YZF-R6	1'36.007
40	31	手島 雄介	MotoMap SUPPLY	GSX-R600L1	1'36.029
-----以上予選通過-----					
41	83	松本 正幸	カワサキマキキョー&モスト	ZX-6R	1'36.065
42	52	中村 豊	MOTO BUM	CBR600RR	1'36.206
43	67	村山 徳孝	AS小笠原&ウツドストップ	ZX-6R	1'36.416
44	54	菅原 豊	ケイズプロ アンスタバーン	ZX-6R	1'36.703
45	55	長谷川直樹	CONFIA・HMF&AS小笠原	GSX-R600L1	1'36.707
46	47	定井 満	カメイレーシング☆ガレージA'	ZX-6R	1'37.112
47	63	矢作 雄馬	RT 森のくまさん佐藤塾	YZF-R6	1'37.377
48	49	八尋 良太	CONFIA・HMFクラブ	GSX-R600	1'37.603
49	87	藤枝 稔	バナナハンズレーシング	YZF-R6	1'37.859
50	58	岸本 孝司	建築工房きしもと&ハイブリッド	ZX-6R	1'38.890
	26	阿久津晃輝	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R6	出走せず
	64	矢田栄一郎	TeamARA虎の穴	YZF-R6	出走せず

予選通過基準タイム(110%)

1回目 A組 1'42.075 B組 1'42.973 / 2回目 A組 1'42.095 B組 1'42.945

R印は、コースレコードを更新した。(従来のレコード:1'33.267)



●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走17台
●決勝スタート/14:00(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	2	山口 辰也	TOHO Racing	MD600	1'32.203 R
2	71	小川 知良	C.I.P.TNU	TSR6	1'32.957
3	15	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	TSR6	1'33.062
4	3	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	GSX-R600L1	1'33.437
5	56	中本 都	リリカ AMENA with OUTRUN	YZF-R6	1'33.744
6	51	高橋 英倫	松戸フラッシュ&PLUSONE	ZX-6R	1'34.221
7	41	宇井 陽一	41PLANNING/PRO-TEC	YZF-R6	1'34.279
8	634	小島 晃輝	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	1'34.864
9	77	稲垣 誠	伊藤レーシングGMDアケノS	YZF-R6	1'34.886
10	99	野田 弘樹	テルル・ハニービーレーシング	CBR600RR	1'35.034
11	31	野左根航汰	ウエビックチームブリックヤマハ	YZF-R6	1'35.395
12	46	星野 知也	ミクニBeatザリ&カリ	GSX-R600	1'36.116
13	810	大西 明	大阪SAMレーシング&Y'sF	SAM600RH4	1'36.361
14	57	齋藤 達郎	TEAM NORICKMATE	YZF-R6	1'36.484
15	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	Z600	1'36.695
16	24	小川 理	ALLMAN&OWracing	YZF-R6	1'37.139
17	10	中尾 健治	レイラスポート	YZF-R6	1'38.907
-----以上予選通過-----					
21		佐藤 周	MST☆TAMITON-R	ZX-6R	出走せず

R印は、当該クラスのコースレコードとする。
予選通過基準タイム(110%) 1'41.423

INFORMATION

手が届きそうなくらい接近!
レーシングマシンの咆哮を間近で!!

激感エリア
(要バドックパス)

全日本ロードレース開催各サーキットで、その迫力を最も激しく感じられる場所に設定されているのが「激感エリア」。岡山国際サーキットでは、1コーナーのコースサイド側に設けられている。この「激感エリア」へは、バドックパスを購入すれば入場が可能となる。コースサイドから大迫力のバトルを感じてみよう!! また、バドックパスがあれば、特設ファンルーム(ピット上222~223号室)にも入場できる!!

※バドックパス(¥6,300)、ピットウォークパス(¥2,100)は、メインスタンド奥の総合インフォメーションで販売しています。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

09:50 - J-GP3 コースイン〜選手紹介
10:05 - J-GP3 決勝レース..... 15Laps
10:55 - ST600 コースイン〜選手紹介
11:10 - ST600 決勝レース..... 15Laps
11:50 -12:40 ピットウォーク
13:05 - King of EURO FIGHTER 決勝レース..8Laps
13:45 - J-GP2 コースイン〜選手紹介
14:00 - J-GP2 決勝レース..... 15Laps
14:55 - JSB1000 コースイン〜選手紹介
15:10 - JSB1000 決勝レース..... 20Laps
※レース終了後〜サーキットクルージング(2輪体験走行)